



立ち直りを支える地域支援ネットワークづくり事業 専門分野研修

立ち直りを支える地域支援ネットワークづくり事業の「専門分野研修」は、対人支援の基礎を押さえたうえで、各種課題への対応およびインクルージョンに向けた啓発活動の実践等を学んでいく、シリーズ化された研修です(無料です!)。
第1回は、窃盗症者(クレプトマニア)をテーマに学習します



第1回

窃盗症者(クレプトマニア)の 社会へのつなぎなおし支援

講師：藤野京子氏(早稲田大学文学学術院心理学教室教授)

専門領域は非行臨床、犯罪心理学。近年、「依存症的窃盗症者への再社会化支援事業」(NPO法人両全トウネサーレにおいて実施された休眠預金活用助成事業・2019~2023年)の調査研究を主導され、それを受けて実践を展開している更生保護施設両全会の「依存症的窃盗症者への再社会化プログラム=リ・コネクト」の取り組みに伴走されています。

日程：12月10日(日) 13:30~16:00

形式：会場参集+リモート(Zoomウェビナー)のハイブリット形式

会場：全国心身障害児福祉財団ビル7階大会議室(豊島区南大塚3-43-11)

申込：[こちらのリンク](#)または右のコードで開く申込フォームよりお申込みください。

東京社会福祉士会ホームページ>本事業特設サイトと辿って開くこともできます。

応募締切日は12月3日。ただし、会場参集は先着順で定員20名に限らせていただきます。

お問合せは、東京社会福祉士会事務局まで TEL：03-5944-8466 MAIL：tachinaori@tokyo-csw.org



「依存症的窃盗症」とは、どういう状況を指すのですか？

頭ではわかっているが、**窃盗直前のスリルや緊張感、窃盗後の達成感や解放感が勝って、「やめられない・止まらない」状態**のことです。他者から咎められたり、逮捕されたりしても、繰り返してしまい、**社会的孤立に自らを追いやってしまう苦しい状態**です。



「リ・コネクトプログラム」とはどのようなものですか？

窃盗の衝動を抑えられない依存症的な行為を抑制し、**日々の暮らしの中で円滑な社会生活を送れるように支援するための認知行動療法のプログラム**です。本研修では、窃盗症が作られる脳のメカニズムと、リ・コネクトプログラムを用いた病的窃盗症者の支援を学ぶ機会として、企画しました。この機会にぜひ！



以上、NPO法人両全トウネサーレホームページを参照してまとめ

自然災害の発生、通信状況により、やむを得ず本研修の開催を中止する場合があります。中止の判断基準は、東京社会福祉士会HPの「自然災害等発生時の研修及び行事等の開催についての判断基準(ガイドライン)」をご参照ください。